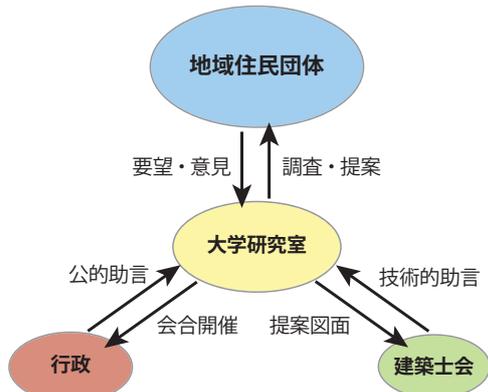


# 住-学-行-産協働による木曽川景観まちづくりプロジェクト

平成22年度 石川一 鬼頭明宏 木全瑛二 香村翼  
古賀巧也 松野晴代 山本哲也 横山太郎  
渡辺健由 本田卓也

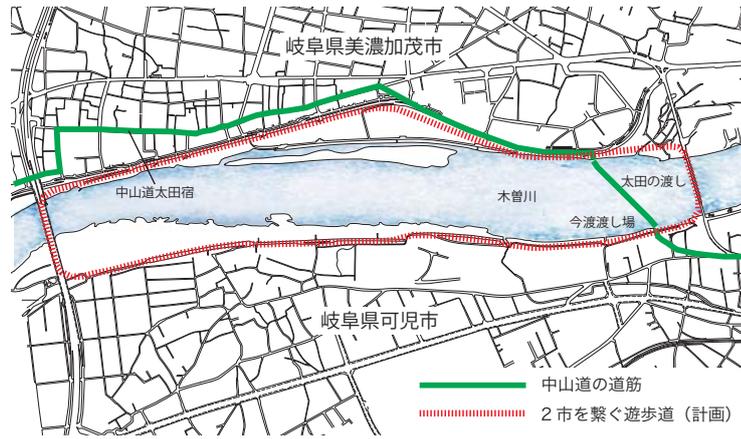
## ■住-学-行-産協働



## 各者にとって有益なプロジェクト

- 【住民】** 地域の事を最もよく知る知恵袋。  
→自分達の生活をより豊かに・・・
- 【大学】** 要望や意見に対する提案を具現化する。  
→実務の経験を通して建築、まちづくりを学ぶ。
- 【建築士】** 建築の専門家。技術的助言・支援をする。  
→建築士会の成果として報告。
- 【行政】** 地域での活動を支援。会合の開催場所等も支援する。  
→事業としても有効。まちをより豊かに・・・

## ■対象地域・・・木曽川を挟んで隣接する可児市と美濃加茂市



木曽川の雄大な風景



中山道の歴史を感じるまち



木曽川渡し場遊歩道

## 別々に活動していた2市の地元住民まちづくり団体をひとつに・・・

美濃加茂市の地元住民まちづくり団体・NPO法人宿木と可児市の地元住民まちづくり団体・木曽川左岸遊歩道友の会は、これまで別々のまちづくり活動を行ってきた。しかし、木曽川を挟んで隣接する2市は共に「中山道」「木曽川」を地域の魅力として考えている。互いに協力してまちづくりを推進した方がより良い活動が出来るのではないかと。そこで、私達大学研究室が間を取り持ち、互いの魅力を活かした地域連携による広域まちづくりプロジェクトを始めた。プロジェクトを指導するに当たり、まず第一に考えたこと。それは、「プロジェクト参加者や地域に暮らす住民の方々にとって有益なプロジェクトにしたい!」という事である。共通の魅力である「木曽川」「中山道」を軸に、地域内に存在する様々な魅力を「繋ぐ」プロジェクトとして、本プロジェクトは対象地域の将来計画案を作成する。

## ■計画案作成までの主な活動・・・地域密着の様々な活動を通じ、計画案の質を高める

### 現地調査



### 要望



### 地元の方々との意見交換会



### 学内外のシンポジウムで公表



地元住民団体、建築士、行政の方々との意見交換会を1年間合計17回企画・開催し、計画案の質を高める事に努めた。毎回、大学で作成・提案した案に対して意見や要望を頂き、次回更に改善した案を提案する事を重ねた。

より多くの人に向けて発表することで、今後更なる議論が展開される事が期待される。特に、昨年度美濃加茂市で開催された「岐阜県景観シンポジウム」では、約500名の来場者の方々の前で発表させて頂き発表後も地域住民の方々からの反響は非常に大きかった。

## ■地域全体計画・・・地域の方々の要望や行政の助言を基に、大学の提案も織り交ぜる

